

ソフトテニス競技要項

期 日	令和3年7月10日(土)・11日(日)
会 場	沼津市営愛鷹運動公園テニスコート 住所: 〒410-0001 静岡県沼津市足高(字尾上)201-1 電話: 055-920-8688
開会式	令和3年7月10日(土) 9時30分
閉会式	令和3年7月11日(日) 競技終了後

新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 観客は無観客とする。
- (2) 換気, ゴミ処理など, 競技会場施設の新型コロナウイルス感染症対策規則に従う。
- (3) 競技会場の出入りに, 手指消毒のアルコールを設置する。
- (4) 控え席や応援席における距離を保つ(2 m, 最低1 m). 集団応援を禁止する。
- (5) マスクの着用を必須とする。ただし, 競技中(ウォーミングアップ, クールダウンを含む)については, 審判長の指示に従う。
- (6) 会場の入退室時は, 手指消毒を義務づける。
- (7) 大会会場に入場する全ての人(役員, 選手, 補助員, 事務局員)について事前登録制とし, 大会期間2週間前および大会期間中の体調管理チェックシートの提出を義務づける。
- (8) 体調管理チェックシートの提出がない場合は, 大会会場への入場を禁止する。

1 男子団体の部

出場人員 監督1名, コーチ1名, マネージャー1名, 選手8名以内, 計11名以内

競技規則 現行の(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」に準拠する。ただし, 試合はすべてダブルスで行う。
雨天の場合その他で試合不能の場合は, 競技委員長, 競技場主任, 審判長, 監督, 主将の協議により対策を決める。

競技方法

- (1) 競技はリーグ戦(雨天の場合, 原則としてトーナメント戦)とし, 現行の(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」に準拠する。
- (2) 1試合は7ゲームマッチとし, 3組の点取り法で行う。
- (3) オーダー用紙は2部作成し, 1部は試合前に本部へ提出し, もう1部を各試合の挨拶の時に相手チームに提出する。
- (4) 使用球はアカエムボールとする。
- (5) オーダー提出後の交替は認めない。

表 彰 優勝チームに優勝杯を, 優勝チーム・2位チームに賞状を授与する。

注意事項

- (1) 選手は3段表記のゼッケンを背中に付けることを義務付ける。ゼッケンは, 上段1/4に都道府県名(都道府県の記載なし)〈参考フォントサイズ=120〉, 中段2/4に苗字〈参考フォントサイズ=200〉, 下段1/4に学校名(正式校名の略称を使用し, 「~高専」を入れる。)〈参考フォントサイズ=100〉を表示すること。ゼッケンの大きさはB5版, 白の台布に黒文字で記入(特太ゴシック体で明記)し, 四隅を留めること。
- (2) ユニフォーム(ゲームウェアを義務付ける), シューズおよびラケットは, (公財)日本ソフトテニス連盟が公認したメーカーのものを使用すること。
- (3) 試合に際しては, 礼儀正しく品位を傷つけないようにすること。

その他

- (1) 優勝チームは, 第56回全国高等専門学校体育大会東海北陸代表決定戦の出場権を得る。
- (2) 審判は試合のない学校の審判団が務める。

2 男子個人の部

出場人員 監督1名, コーチ1名, 選手6組以内, 計14名以内

競技方法

- (1) トーナメント戦とする。
- (2) 試合は7ゲームマッチとする。
- (3) 3位決定戦を行う。
- (4) その他は男子団体の部に準ずる。

表彰 優勝組, 2位組, 3位組に賞状を授与する。

その他

- (1) 優勝および2位組は, 第56回全国高等専門学校体育大会の出場権を得る。
- (2) 敗者審判制とし, 初戦の審判については, 当日の監督・主将会議で決定する。

3 女子団体の部

出場人員 監督1名, コーチ1名, マネージャー1名, 選手8名以内, 計11名以内

競技規則 現行の(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」に準拠する。ただし, 試合はすべてダブルスで行う。

競技方法

- (1) 男子団体の部に準ずる。

表彰 優勝チームに優勝杯を, 優勝チーム, 2位チームに賞状を授与する。

その他

- (1) 審判は試合のない学校の審判団が務める。
- (2) 競技方法の変更については, 参加申し込みの受付け後に主管校が行う。

4 女子個人の部

出場人員 監督1名, コーチ1名, 選手5組以内, 計12名以内

競技方法

- (1) トーナメント戦とする。
- (2) その他は男子個人の部に準ずる。

表彰 優勝組, 2位組, 3位組に賞状を授与する。

その他

- (1) 優勝組は, 第56回全国高等専門学校体育大会の出場権を得る。
- (2) 敗者審判制とし, 初戦の審判については当日の監督・主将会議で決定する。
- (3) 競技方法の変更については, 参加申し込みの受付け後に主管校が行う。